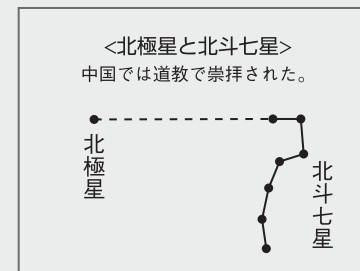


妙見信仰

妙見信仰は、北極星や北斗七星を神としたもので、もともと中央アジアの遊牧民に信仰されていたものでした。やがて中国に伝わり中国の伝統的宗教であった道教や仏教とまざりあい日本に伝わりました。この信仰は、平安時代になると日本の仏教のいろいろな宗派で信じられるようになりました。関東地方には、渡来人の移住とともにもたらされ、この地方で成立した武士たちの間にも広まりました。



尊星王立像 園城寺蔵



木造妙見菩薩立像 法輪寺蔵

日本最古の木造妙見像。



園城寺(三井寺) 滋賀県大津市

天台宗寺門派の総本山。寺門派では妙見菩薩を尊星王と称した。



法輪寺 奈良県生駒郡斑鳩町

聖徳太子の創建と伝えられる古刹。